

探鳥会 in 万博記念公園



— 大阪府 吹田市 —

日 時： 令和4年 2月 11日（金祝）
場 所： 吹田市万博記念公園（自然文化園）
参加者： 14名（内 子ども3名）
主 催： 日本ビオトープ管理士会 近畿支部
概 要： 冬の野鳥観察会
【講師】日本野鳥の会 有賀憲介様



《確認した野鳥リスト》

- ハイタカ
- カルガモ ■オオバン ■カイツブリ
- アオサギ ■キセキレイ ■ハクセキレイ ■セグロセキレイ ■カワセミ
- シメ ■シロハラ ■ツグミ ■ヒヨドリ
- アトリ ■カワラヒワ ■シジュウカラ ■メジロ
- オシドリ（観察会終了後） → <http://050505.cocolog-nifty.com/blog/2022/02/post-fb0723.html>

《その他の生きもの》

- クヌギカメムシの卵 ■ニホンアカガエルの卵塊 ■ユスリカ





アオリギとカルガモ



アトリとカワラヒワ



オニドリ



オニドリ



カイツブリ



カワラヒワ



キセキレイ



ミンゾウカラ



ジョウビタキ雌



ヒグロセキレイと人孔



ソノハラ



人孔の穴とユスリカの仲間



ハクセキレイ



ヒヨドリの菜っぱ喰い





千里の鳥・万博の鳥 第111回 『ホオジロガモ』

今回は新年早々に吹田市・千里南公園牛ヶ首池で観察されたホオジロガモを紹介する。

ホオジロガモは体長45cmの中型、潜ってエサをとる海ガモで、北ヨーロッパ、シベリアのユーラシア大陸、カナダ・アメリカのアメリカ大陸と北半球の亜寒帯で繁殖し、冬期は温帯の地中海やペルシア湾、日本、中国南



種名：ホオジロガモ／撮影日：2022年1月17日
撮影場所：千里南公園・牛ヶ首池／撮影者：有賀素介氏

部、朝鮮半島、そして2011年、2013年に観察されており、今年9年ぶりに姿を見せた。毎年1月に実施している大阪府内のカモ調査結果を見ると、昨年(2021年)はカモトータルが32000羽、吹田市内でも良く見られるホシハジロ8600羽、ヒドリガモ6100羽と多いのに対し、ホオジロガモはわずか11羽のみであった。しかも確認された所は大阪南港・北港、淀川・大和川河口、そして岸和田市「ちきりアイランド(埋め立て地)」などの沿岸部で、内陸部の池での観察はなかった。

私は30年ほど前、ホオジロガモが出ていると聞き、泉大津市助松埠頭まで見に行ったことがあるが、遠く波に揺られているカモに、トレード

状況にあった。頭を動かすことに顔周辺の色が微妙に変化し、写真のような緑色光沢のある黒色だけでなく、紫色気味に変化したたり、黒色気味になったり、色の変化も楽しめた。ホオジロガモはよく潜水していたので、エサがとれていたかもし

そんな苦労してみたいことのあるホオジロガモ、今回は雄成鳥が近くいて、嘴基部にある白斑から、すぐに名前もわかる

年明けのコロナ急拡大で探鳥会中止
さて、今年に入つてのコロナ第6波、昨年第5波までの経験を大きく上回る感染力を發揮し、日々感染者数の記録を更新している。1月万博定例探鳥会は事前申込・定員制による開催で準備していたが、正月明けにコロナ急拡大がわかり、急遽中止とした。

コロナ感染者数増加が続く中、大阪府の新型コロナ警戒信号が黄色→赤色に変わったこともあり、日本野鳥の会大阪支部では府内18カ所で開催している定例探鳥会は、当面中止することになった。【日田野鳥の会安威川探鳥会(2/12)】
【吹田】も鳥会(2/20)も中止をすることにしたい。
今冬は例年より冬鳥が少ないものの、家からすぐ近くの里緑地の樹林にシロハシロキ・シロハシロキ・シロハシロキ、池にヒドリガモ・ホシジロ、そしてオシロガモ、1月18日にはいなくなったこと、来年以降も来てくれることを、楽しみにしたい。